

Date: 2024/07/02 9:50~

From: 内科 赤間医師

Subject: 和子の様子に関する病状の報告。

固定電話機に赤間医師から連絡の電話が入った。

嚥下機能が良くない。

5月17日から絶食状態にある。

当日から点滴をしている。

現時点、貧血が進行していて「厳しい状態」にある。

昨日は、声掛けすると、反応があった。

本日は、呼びかけても反応がない。 会話ができない。

栄養不良と老衰（老衰と衰弱）の状態にある。

本日から造血剤を投与します。

お礼を述べた「適切な対応をしてくださりありがとうございます」。

追記：

5月15日、和子は嘔吐した。

5月16日、大坪医師から電話があり、前記を聞いた。

しかし、腸内感染なし、熱なし、 問題はない。

向精神薬の副作用と判断し、投与をやめた、とのことだった。

5月18日、美年子から和子へお見舞いの手紙とすずらんカードを郵送した。

本日（7月2日）の赤間医師からの電話報告の後、

当病院に電話して PSW 土井さんを頼んだが、忙しいと断られた。

病棟長の中村看護師に繋いでもらった。

7月5日から7月9日の間、私どもは横浜に行って不在する。

状態が悪くなったら携帯電話に連絡していただくよう、依頼した。

緊急の携帯電話番号を互いに確認した。

7月1日、美年子から和子へ手紙を送った。

7月2日、伊織タオル（ピンクのガーゼ）と土井 PSW 宛の手紙

「枕元に置いてください。」を書き、ヤマト宅急便で送った。

以上、